

日本橋かるた詠み句(47句)

頭文字	詠み句	備考	頭文字	詠み句	備考
い	いつの世も 道の起点は 日本橋		ゐ	戌の日に 安産祈る 水天宮	
ろ	櫓がきしむ 浜町河岸から 花見船		の	のれんとは 磨き育てる ものと識り	
は	初鯉 初物好きで 見栄っ張り	佳作	お	幼子の 迷い路助く 一石橋	
に	日銀は 江戸の金座の 跡にあり		く	クールビズ 日本橋へは 浴衣着て	優秀賞
ほ	ほおずきの 売り声なつかし 白木観音		や	八重洲の語源 ヤン・ヨーステンと つゆ知らず	
へ	べったら市 行き合う人の 袖ふれて		ま	まっつぐでい 江戸の言葉は 今も生き	
と	常盤橋 江戸城下町への 出入り口	橋本賞	け	経済の 先行き映す 兜町	
ち	知も宿る 洋の窓口 長崎屋		ふ	富士仰ぎ 江戸の商い 駿河町	
り	両国の 夜空に咲いた 江戸の華		こ	石町の 鐘でお江戸の 夜が明ける	
ぬ	ぬか袋 桶に梳き櫛 玄冶店		え	江戸前の 干潟をしのぶ 蛸殻町	
る	流転せし 按針しのぶ 屋敷跡		て	天高く 纏踊るは 江戸火消し	
を	近江江戸 天びんかけて 高島屋		あ	青空を いつかは見たし 日本橋	
わ	我が国の 医薬を支える 本町界限		さ	山王と 神田は仲良く 天下分け	最優秀賞
か	掛値なし 三井越後屋 大繁盛		き	熙代勝覧 今よみがえる 江戸の町	小澤賞
よ	芳町に 三味の音色と 下駄の音		ゆ	郵便の 始まりの地で 文送る	
た	谷崎も 黒塀見たか 人形町		め	明治座へ 甘酒横丁 恋の路	
れ	連綿と 問屋ひしめく 横山町		み	みな笑顔 橋を洗うや 日本橋	矢田賞
そ	祖母と来て 今は孫連れ 三越に		し	時雨月 二八に散らす 薬研堀	
つ	鳶屋に鶴屋 版元競う 錦の絵		ゑ	絵日傘が くるりまわれば 江戸小町	上林賞
ね	音締冴え 河東節語る 旦那衆		ひ	雛の市の にぎわい華やか 十軒店	
な	中村座 看板あげた 江戸歌舞伎		も	餅つき 初夢 七福神めぐり	
ら	欄干の 擬宝珠に映える 富士の山		せ	背を開く 江戸の蒲焼 武士の町	
む	無料バス メトロリンクで 店めぐり		す	双六は 日本橋から 京上がり	細田賞
う	魚河岸の 名残はんぺん かつおぶし				